

テーマ

脂質栄養の改革の必要性と企業・行政の壁

13:00 ~ 14:30 [90分]

第1部

数種の薬と植物油が脳・心血管病、糖尿病などの主因であり、腎症、骨折から少子化、精神神経症などにも関わっている。生活習慣病予防のためには、①ω6/ω3比の高い油の摂取を控えること、②脳卒中促進因子を含む数種の植物油の摂取を極力減らすことを勧める。これらはエビデンスに基づく結論であるが、その方向への変革を望まない勢力がある。



講師 奥山治美 (おくやま はるみ)

プロフィール

名古屋市立大学名誉教授
金城学院大学消費生活科学研究所員
NGO 日本食品油脂安全性協議会理事長

1968年 東京大学大学院薬学研究所修了、薬学博士。
名古屋市立大学、金城学院大学で薬学の教育と研究に従事。米国イリノイ大学、ベイラー医科大学、大連医科大学等の客員教授を務める。専門は脂質栄養化学。生活習慣病予防の脂質栄養について、新方向の広報に努めている。

主な著書



テーマ

病気がイヤなら「油」を変えなさい！

14:45 ~ 16:15 [90分]

第2部

食生活の中にトランス脂肪酸を持ち込んだことは、過去100年間で食品産業界がやらかした最大の悪事一。ハーバード大学教授であるウォルター・ウィレット博士の言葉である。世界ではトランス脂肪酸の規制が進む中、大きく立ち遅れているのが我が国日本である。米国では6月からトランス脂肪酸の食品への添加が全面禁止となる。今こそ声をあげるべき時であり、この流れを決して「ブーム」として終わらせてはならない。



講師 山田豊文 (やまだ とよふみ)

プロフィール

杏林予防医学研究所所長
米国公益法人ライフサイエンスアカデミー理事長
アカサカフロイデクリニック CEO

細胞の機能を、細胞自身が求める極限にまで高める栄養素(環境)を提供することにより、人は誰でも最高に健康に生きることができる。それこそが予防医学・治療医学のベースになるという独自の理論『細胞環境デザイン学』を提唱。その理論を日本に広めていくための人材を育成する「杏林アカデミー」を2013年より開講し、受講生は600名に上る。

主な著書



スケジュール

12:30	13:00	14:30	14:45	16:15	16:30	17:00
受付 [30分]	奥山治美講演 [90分]	休憩 [15分]	山田豊文講演 [90分]	休憩 [15分]	質疑 [30分]	終了

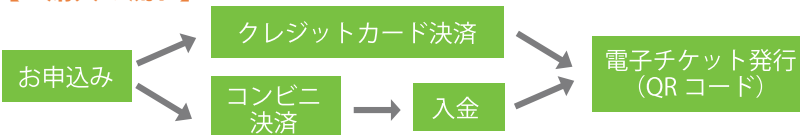
※スケジュールは多少前後することがございます。あらかじめご了承ください。

お申込方法 / 電子チケットをお求めください。

下記のQRコードを読み取り、電子チケットをご購入ください。
当日、受付時にQRコードが必須となりますので必ずご持参ください。



【ご購入の流れ】



画面での提示でもOK!



http://kyorin-yobou.net/no-more_transfat/